

【求める15歳の姿】
受け入れ合い
支え合い
高め合う生徒
～互いの考えや意見を尊重
した発言・意見を通して～

鷺 中



TEL86-7950 fax86-7961

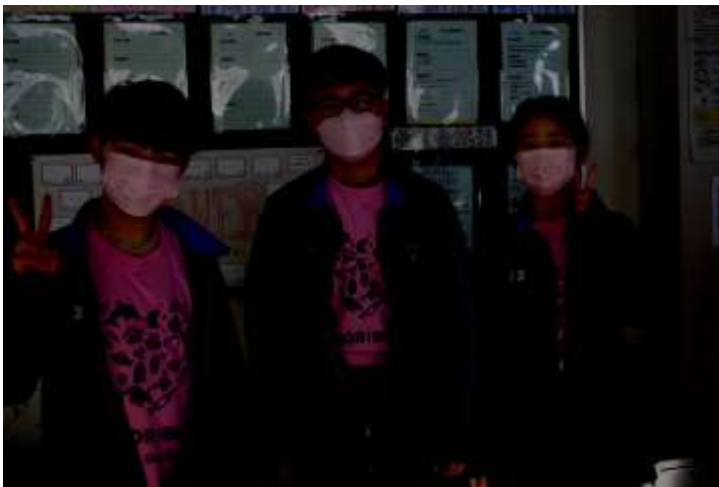
発行責任者：校長 鈴木 恭 朗

ピンクシャツデー実施2/22 いじめ、悪口、非難語ゼロの学校に！ 嘲笑ではなく、明るい笑いが広がる仲間集団をつくるためには…

この日、教職員による朝の打合せで、『今日一日、「非難語」が一切飛び交うことのない学校生活を送るよう生徒に伝えてください。』とお願いしました。

「避難語」という言葉を初めて耳にする方もいらっしゃると思います。人の身体の特徴や趣味、些細な言動をからかう、あげつらう、などの行為です。それを芸風にして笑いにつなげるお笑い芸人もいますが、学校生活にそれは必要ありません。

言うまでもなく、相手の立場になって物事を考えることができれば、非難語や嘲笑はなくなるはずなのですが、生徒全員がそれを貫くことは容易ではありません。生徒会や学級会リーダーがどんなに頑張り、呼びかけを行っても、最終的には生徒一人一人の良心に委ねられることとなります。ピンクシャツデーは、ピンクの小物や衣類を身に着けるイベントとしての要素もありますが、本当のねらいは、人とのよりよい関わり方について一人一人が真剣に考える日です。御家庭でも、話題の一つとして取り上げてください。



1 学年親子レク2/24 25名を超す保護者に参加していただきました

この日5、6校時、親子レクでミニバレーを実施しました。大勢でワイワイすることが好きな生徒たちですが、25名を超す保護者の方々にも参加していただき、とても活気のある、楽しい親子レクになりました。ALTのトレバー先生、河野先生も保護者チームに加わり、生徒とのふれあいの時間にもなりました。



2 学年ダンスの授業（体育） この日は2組を訪問

発表交流会に間に合うように、動画を何度も繰り返し見ては、一つ一つの動きをチェックしていました。協力して一つのを創り上げるという意味では、仲間意識の向上にもつながる良い教育活動だと考えます。週末、公園で練習に取り組んでいるグループもあるようです。

